

Join

国際理解教育通信
第30号
2018年5月発行



みんなの国際交流

3月に実施した台湾短期留学（訪問）より、参加者の声をお届けします！中等部から馬場千里さん、新山百香さん、中川雄策くんの3名です。高等部から西村京香さん、林戸俊くん、中村綾汰君、吉田理紗さんの4名です。



J2・S2 台湾短期交換留学：2018年3月21日～27日（7日間）

【授業について】

・生徒みんなが真剣に授業を受けていて、先生が何か問いかけたら生徒はとても積極的に答えを返しているのが特に強く印象に残っています。（J3-C 馬場千里）

・僕が受けたクラスは英語の授業が多く、高等部のようにネイティブの先生が主体となって授業を行う英語表現の授業と、現地の先生が主体となって授業を行うコミュ英の授業があった。英語以外の授業ではプレゼン発表形式が多く、生徒が主体となって授業が進行しており、とても参加しやすい授業だった。（S2-D 林戸俊）

【学校生活について(授業以外)】

・とても自由にのびのびしていて過ごしやすかった。（J3-B 中川雄策）

・台湾の生徒や先生はとてもフレンドリーで日本のことに興味がある人が多く、休み時間になると他のクラスからも人が来て質問攻めにありました。（S2-B 中村綾汰）



【台湾について】

・クラスメイトもホストファミリーもとても明るくてフレンドリーな性格の人が多かった。ご飯も美味しいユニークな食べ物もあり、おもしろかった。（S2-D 西村京香）

【ホームステイについて】

・ホストファミリーとは、バディだけでなく皆と会話が英語で楽しめたし、英語のレベルが高かった。毎日、いろんな所に連れて行ってくれ、家族の一員として受け入れてくれて、とても温かかった。（J3-B 新山百香）

【交換留学を終えて感じたこと】

・英語を喋ることが楽しくなった。自分の英語でも伝わるといふ自信がついて本当に楽しかった!!（J3-B 中川雄策）

・一生の思い出となる貴重な機会になった。家族で行く海外旅行とは全く異なる。（J3-B 新山百香）

・以前は英語で話しかけられるとすぐに対応できず慌てていましたが、留学を終えて英語で話しかけられても今は抵抗なく話すことができるようになりました。（S2-C 吉田理紗）

【後輩へのメッセージ】

・交換留学はとても楽しくて、いろんな経験ができます!受け入れ側の時も訪問側の時ととっても充実した1週間になると思うので、現時点で少しでも交換留学に参加してみようかなと思っっている方がいたら、ぜひチャレンジしてみてください!!（J3-C 馬場千里）

・少しでも興味があるなら、たとえ短期でも一度は留学を経験してほしいと思います。想像以上にたくさんの刺激をもらえるし、絶対に何か学べることはあります。そして何より楽しい!!（S2-C 西村京香）

・現代社会ではグローバル化が進んでいて、英語が必須となりつつあります。また、SGH指定校である高等部の私たちは、英語が必須の世の中を引っ張っていくことを期待されている人たちです。今まで海外に行ったことがない人や、留学、ホームステイに参加したことがない人にはぜひおすすめのプロダムです。ホームステイなどで現地の人の生活を体験する場合、日本と違う生活様式や考え方に戸惑うことも多いです。しかし、ただ海外に旅行に行くだけでは味わえない体験をたくさん味わえるのがホームステイの一番の魅力だと思います。参加しないと気づけなかったことや味わえなかった体験がたくさん待ち受けています。是非、勇気を出して自分の殻を破ってみてください!!（S2-B 中村綾汰）





高等部の訪問は岩城愛さん、岡本碧梨さん、田畑美咲さん、深澤奈々さん、福井美帆さん、宮本一熙くん、向井雅人くんの7名です。



【授業について】

・クラスルームがなく、毎時間、授業が行われる教室に生徒が移動するというスタイルでした。授業中は分からない所があったらすぐ質問したり、ディスカッションでもすすんで意見を言ったり、意欲的に授業を受ける生徒が多かったです。(S3-A 岩城愛)

・わからないところがあれば周りの人と相談をしたり、積極的に質問をしていた。これからの自分の勉強に対するモチベーションがすごくあがった気がした。(S3-D 向井雅人)

【学校生活について】

・休み時間は、クラスメイトとの会話を楽しみました。日本の文化について興味を持っている生徒も多く、日本の文化について話したり、またシンガポールの文化について教えてもらったり、色々な話をすることができました。(S3-A 岩城愛)

・学校が広くて移動が大変だった。全校集会の時、人が多くて凄かった。(S3-B 田畑美咲)

・休み時間が長くて皆で歌ったりしていて楽しかった。(S3-C 深澤奈々)



【寮生活について】

・寮の中は布団や机、クローゼットなどの必要なものはあるため、特に困ることはなかったし、シャワーもちゃんとあるため、生活しやすかった。また校内にはコンビニや自販機などもあり、普通のものよりも非常に安く売っていたため、食べ物や飲み物にも困らなかった。その上、寮の近くには食堂があり、朝食と夕食を無料で食べることができた。(S3-D 宮本一熙)

・寮生活は面白かった。セキュリティがしっかりしていた。(S3-C 深澤奈々)



【シンガポールについて】

・街の様々なところに木が生えていて、とても空気がきれいでした。また、観光地は開発されていたけれど、リトルインディアやチャイナタウンといった様々な民族が生活しているところはそれぞれの地域の特色があらわれていました。(S3-A 岡本碧梨)

・自然や花が多く空気が新鮮な気がしました。そして、シンガポールは多民族国家のためお皿の返す場所がハラル、ノンハラルでちがうなど宗教にも気をつけているということを知りました。(S3-D 福井美帆)

【交換留学を終えて感じたこと】

・英語を上手く話そうとして会話をためらうよりも、コミュニケーションをとろうと、積極的に自分の思いや意見を伝えようとする姿勢の方が、より大切だと感じました。(S3-A 岩城愛)

・自分の英語力のなさを痛感しました。積極的に話しかける、コミュニケーションをとることで、1週間という短い期間でしたが、現地の学生たちと仲良くなることができました。文化の違いに触れ合えるいい機会になりました。(S3-D 福井美帆)

【後輩へのメッセージ】

・少しでも興味があるなら、絶対にこの交換留学に参加したほうがいいと思います。英語が苦手でも一生懸命伝えたらバディーはしっかり答えてくれて、コミュニケーションは十分に取れると思います。(S3-A 岡本碧梨)

・留学をするにあたって、楽しみとともに非常に大きな不安もあります。ですが、実際に行ってみるとやるのがいくらでもあり、非常に忙しいので、そんなに不安な気持ちになることはないと思います。もし言葉がわからなくても、消極的にならずに、自分から進んで話しかけることがとても大事だと思います。そうすれば相手も自分の話を頑張って聞いてくれるし、話しかけてもくれます。留学するのは大変ですが、チャレンジすることで非常に良い経験を得ることができると思うので、ぜひ留学にチャレンジしてみてください。(S3-D 宮本一熙)

・スケジュールがハードで大変なことも沢山あるけれど、とても貴重な経験になります。(S3-B 田畑美咲)

・これから行こうか悩んでる方がいると思いますが、悩むぐらいなら行ったほうがいいと思います。ここでしかできない経験もたくさんありここでしかできない友達もいます。なので、もしいきなりと少しでも思ってるならプログラムに参加した先輩に聞きなりして相談でもしてください。必ず、いい経験になると思います。(S3-D 向井雅人)